

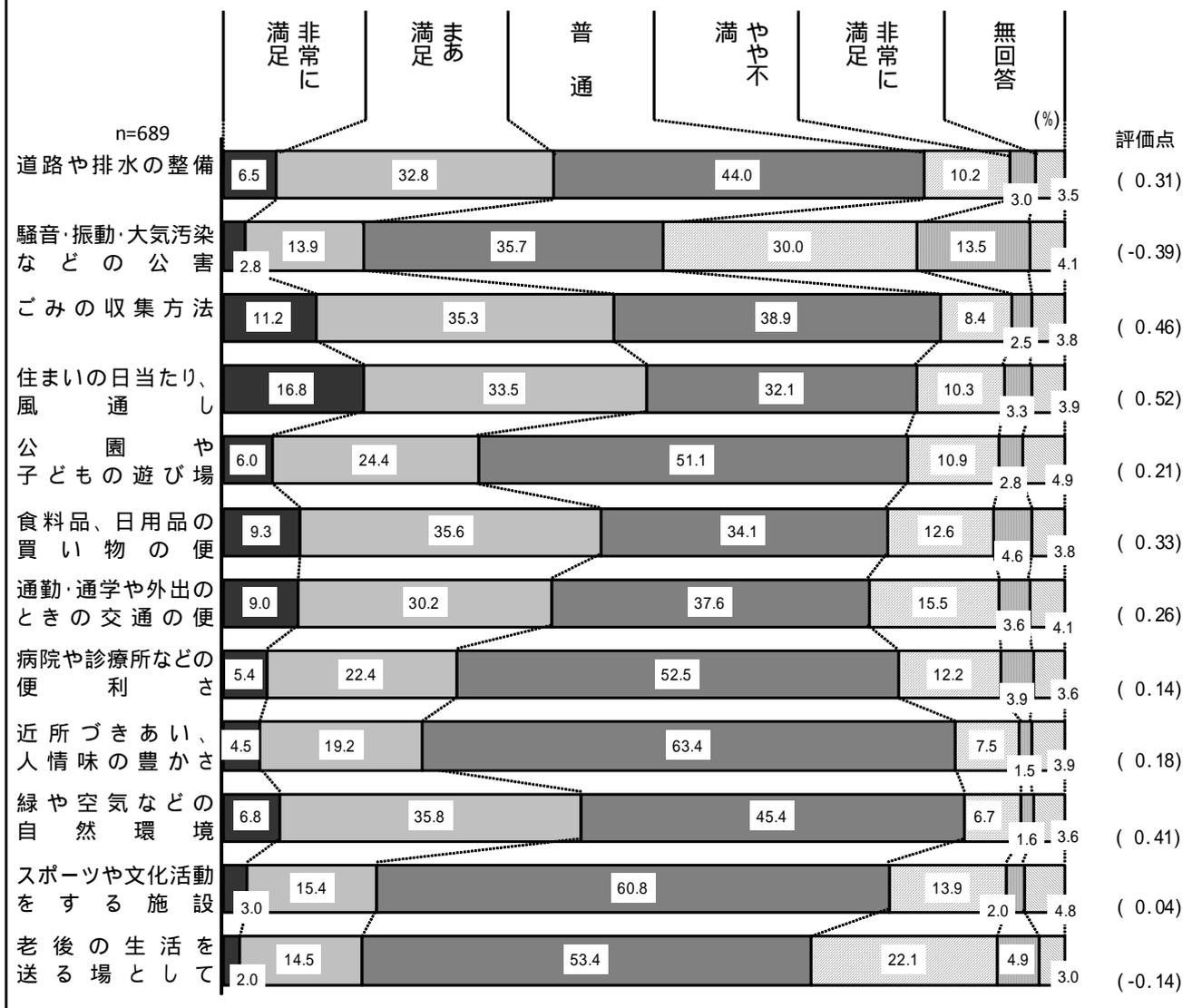
2. 生活環境評価

(1) 地域の生活環境評価

「住まいの日当たり、風通し」では【満足】が2人に1人

問5 あなたは、「地域の住みよさ」について、普段どのように感じていますか。次の(ア)から(シ)までの項目について、それぞれ1つずつ選んで番号に をつけてください。

< 図表 2 - 1 > 生活環境評価



生活環境に関する12項目の評価を尋ねたところ、「非常に満足」と「まあ満足」を合わせた【満足】の割合が最も高いのは、「住まいの日当たり、風通し」(50.3%)で約2人に1人が満足している。次いで「ごみの収集方法」(46.5%)、「食料品、日用品の買い物の便」(44.9%)、「緑や空気など自然環境」(42.6%)が約4割と高くなっている。一方、「やや不満」と「非常に不満」を合わせた【不満】の割合が最も高いのは、「騒音、振動、大気汚染などの公害」(43.5%)で4割強を占める。次いで「老後の生活を送る場所として」(27.0%)が3割弱、「通勤・通学や外出のときの交通の便」(19.1%)が約2割と高い。(図表2-1)

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために加重平均値による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する方法である。

算出方法

$$\text{評価点} = \frac{\begin{aligned} & \text{「非常に満足」の回答数} \times 2 \text{点} \\ & + \text{「まあ満足」の回答数} \times 1 \text{点} \\ & + \text{「普通」の回答数} \times 0 \text{点} \\ & + \text{「やや不満」の回答数} \times -1 \text{点} \\ & + \text{「非常に不満」の回答数} \times -2 \text{点} \end{aligned}}{\text{(回答者数 - 無回答数)}}$$

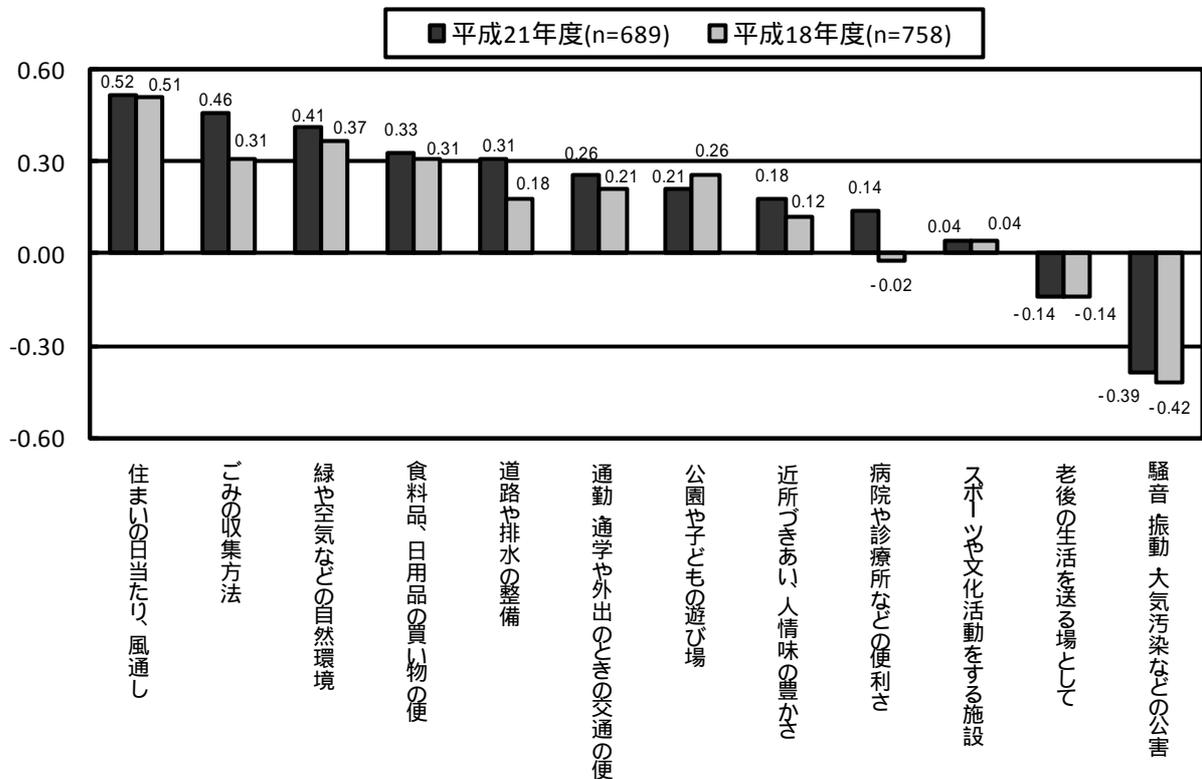
この算出方法では、評価点は+2.00点～-2.00点の間に分布し、中間点の0.00点を境に、+2.00点に近いほど評価は高く、逆に-2.00点に近いほど評価は低いことになる。

これによると、最も評価点が高い項目は「住まいの日当たり、風通し」(0.52)となっている。次いで、「緑や空気など自然環境」(0.41)、「ごみの収集方法」(0.46)、「食料品、日用品の買い物の便」(0.33)が続いている。一方、最も評価が低い項目は「騒音、振動、大気汚染などの公害」(-0.39)、「老後の生活を送る場所として」(-0.14)もマイナスの評価点となっている。

平成18年度の調査結果と比較すると、「病院や診療所などの便利さ」で平成18年度(-0.02)はマイナス評価だったが、今年度(0.14)はプラス評価へと転じている。また、依然としてマイナスの評価点ではあるが、「騒音、振動、大気汚染などの公害」についても-0.42点から-0.39点に上がっている。

(図表2-2)

<図表2-2>生活環境評価/前回比較

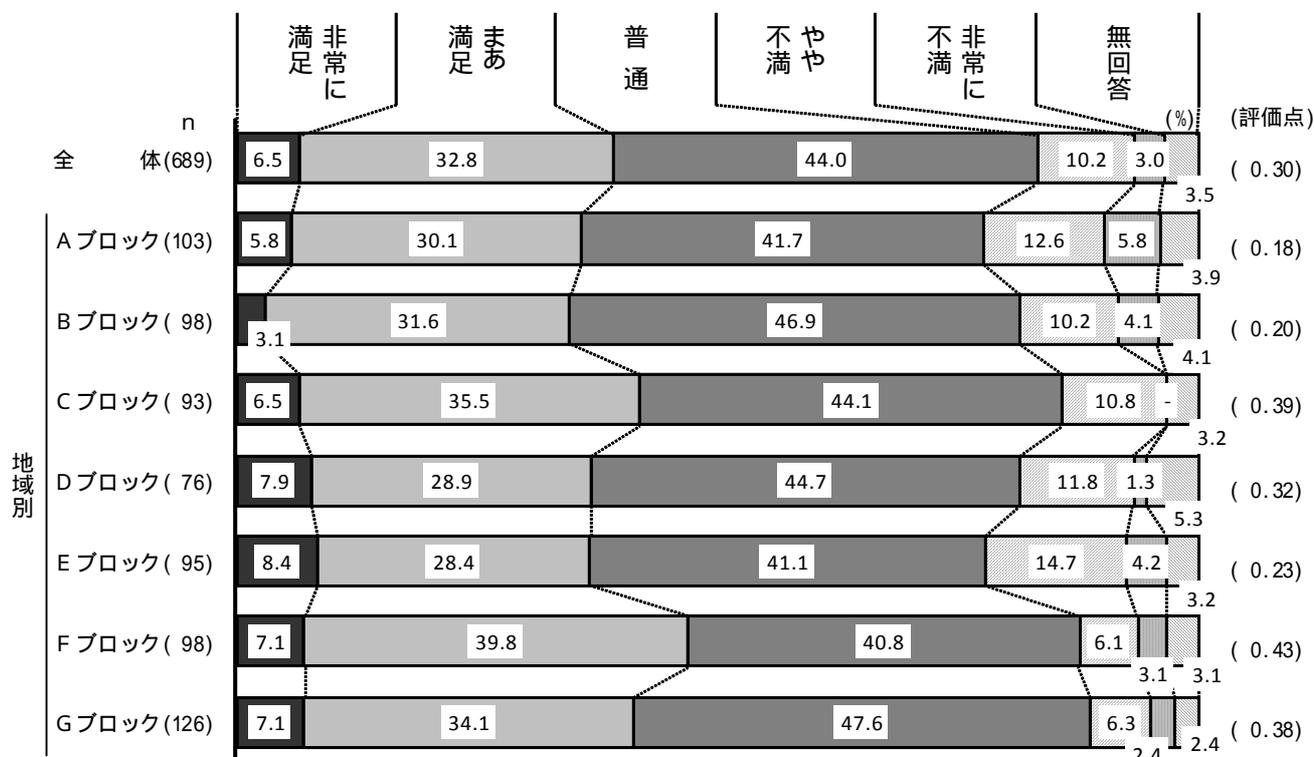


各項目の調査結果を地域別でみた。

【道路や排水の整備】Fブロック(0.43)とCブロック(0.39)、Gブロック(0.38)で評価点が高い。

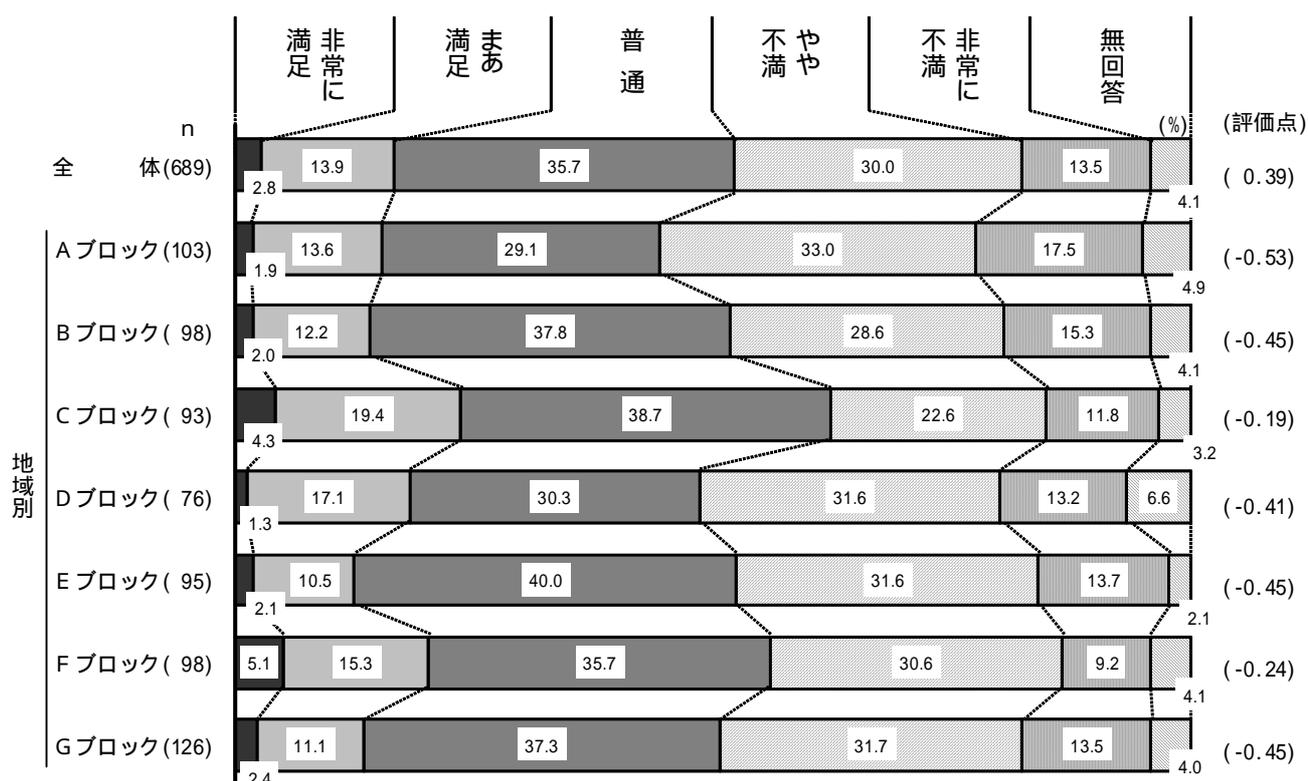
(図表2-3)

<図表2-3>道路や排水の整備/地域別



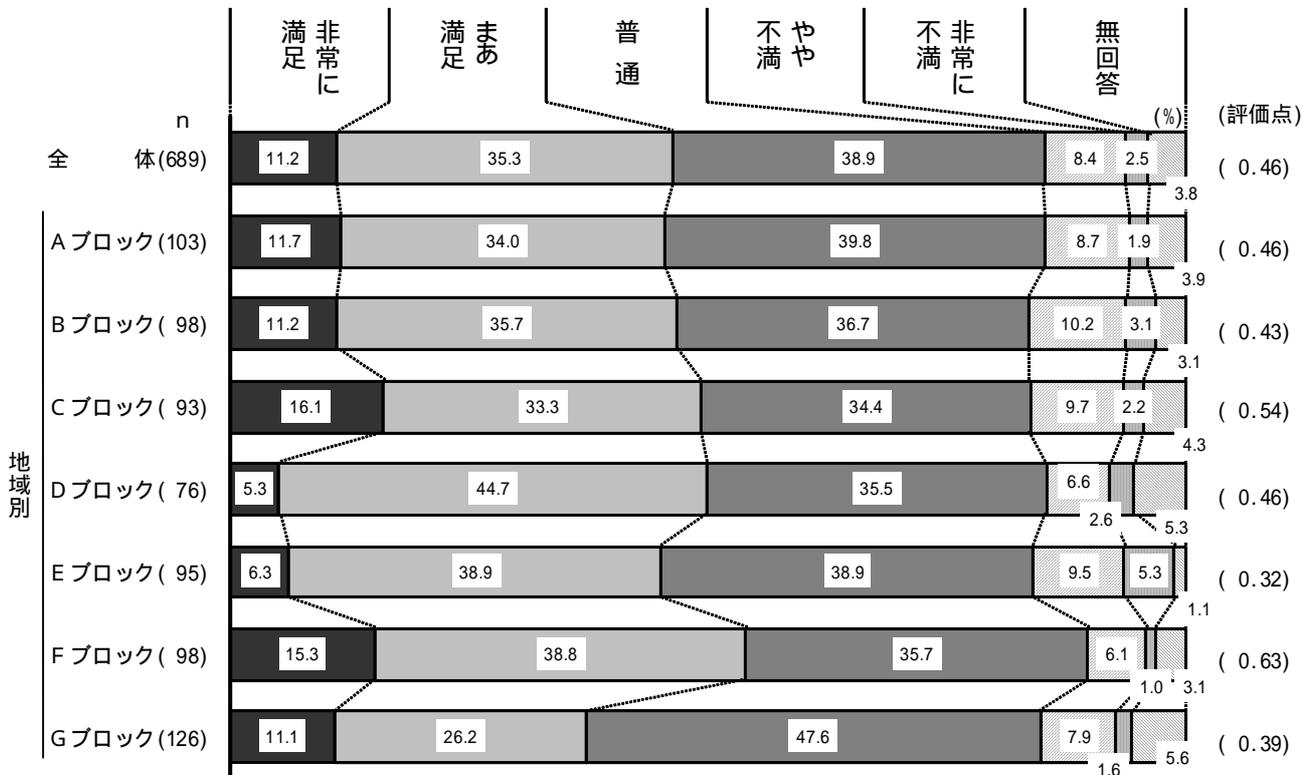
【騒音、振動、大気汚染などの公害】すべてのブロックでマイナスの評価点となっており、特にAブロック(-0.53)、Bブロック(-0.45)、Eブロック(-0.45)、Gブロック(-0.45)と目立って評価点が低くなっている。(図表2-4)

<図表2-4>騒音・振動・大気汚染などの公害/地域別



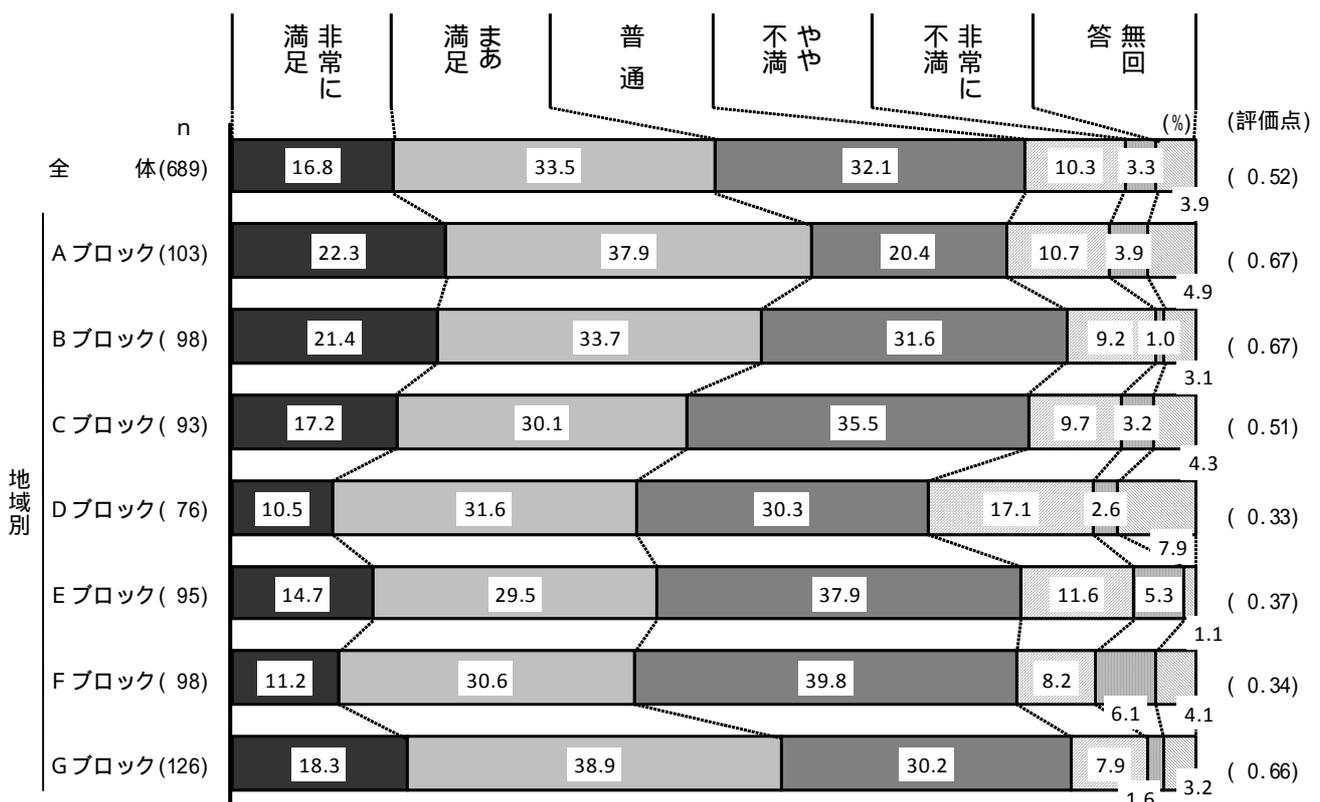
【ごみの収集方法】Cブロック(0.54)とFブロック(0.63)で評価点が他の地域に比べて高くなっている。(図表2-5)

<図表2-5>ごみの収集方法/地域別



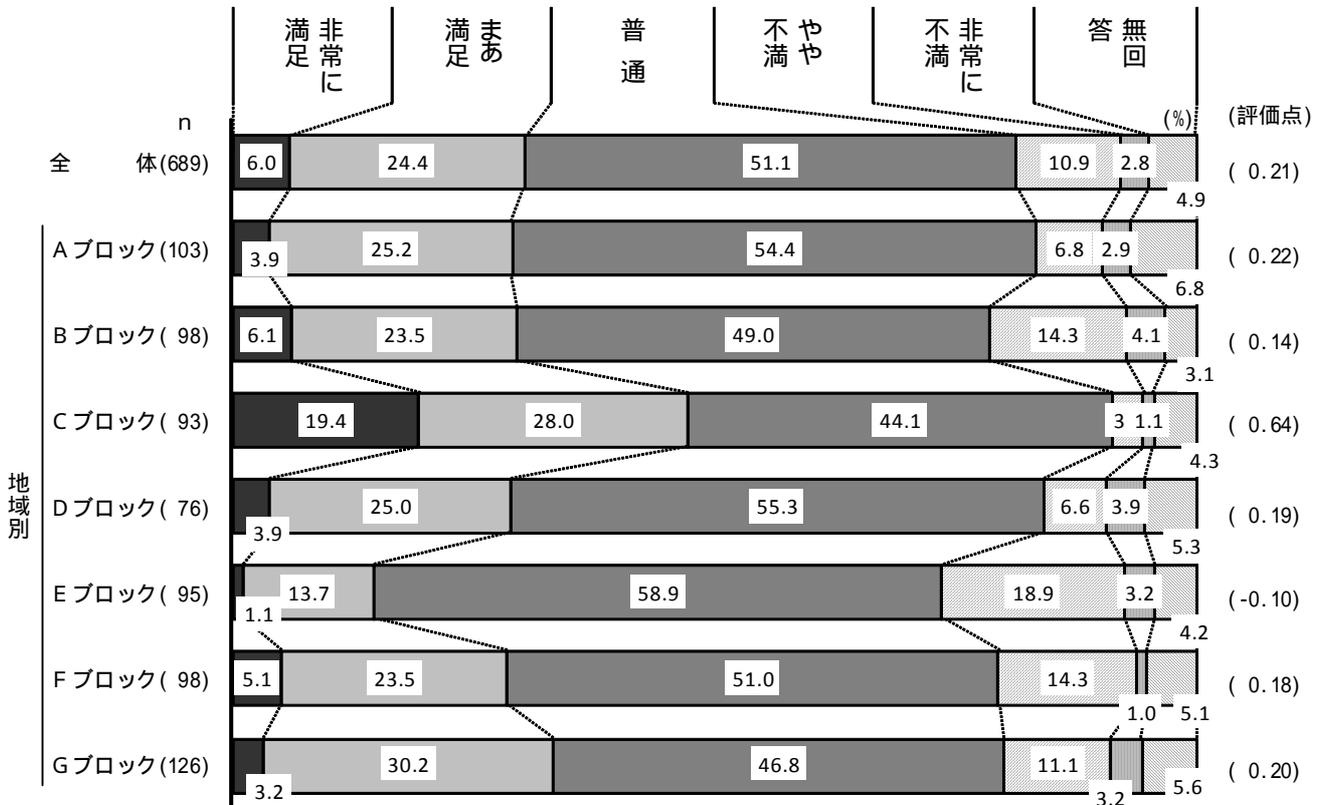
【住まいの日当たり、風通し】Aブロック(0.67)とBブロック(0.67)で最も評価点が高く、次いでGブロック(0.66)、Cブロック(0.51)と続いている。(図表2-6)

<図表2-6>住まいの日当たり、風通し/地域別



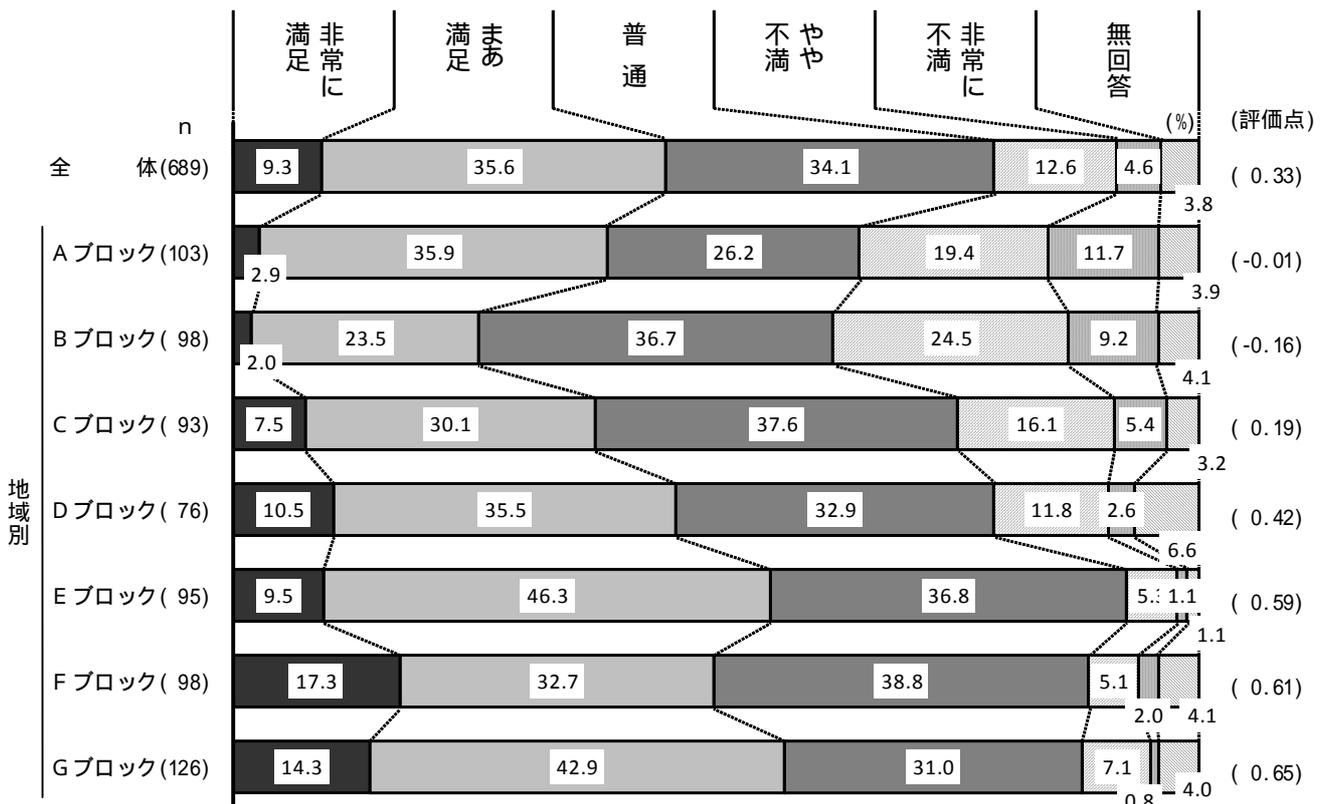
【公園や子どもの遊び場】Cブロック(0.64)で最も評価点が高くなっている。Eブロック(-0.10)はマイナスの評価となった。(図表2-7)

<図表2-7>公園や子どもの遊び場/地域別



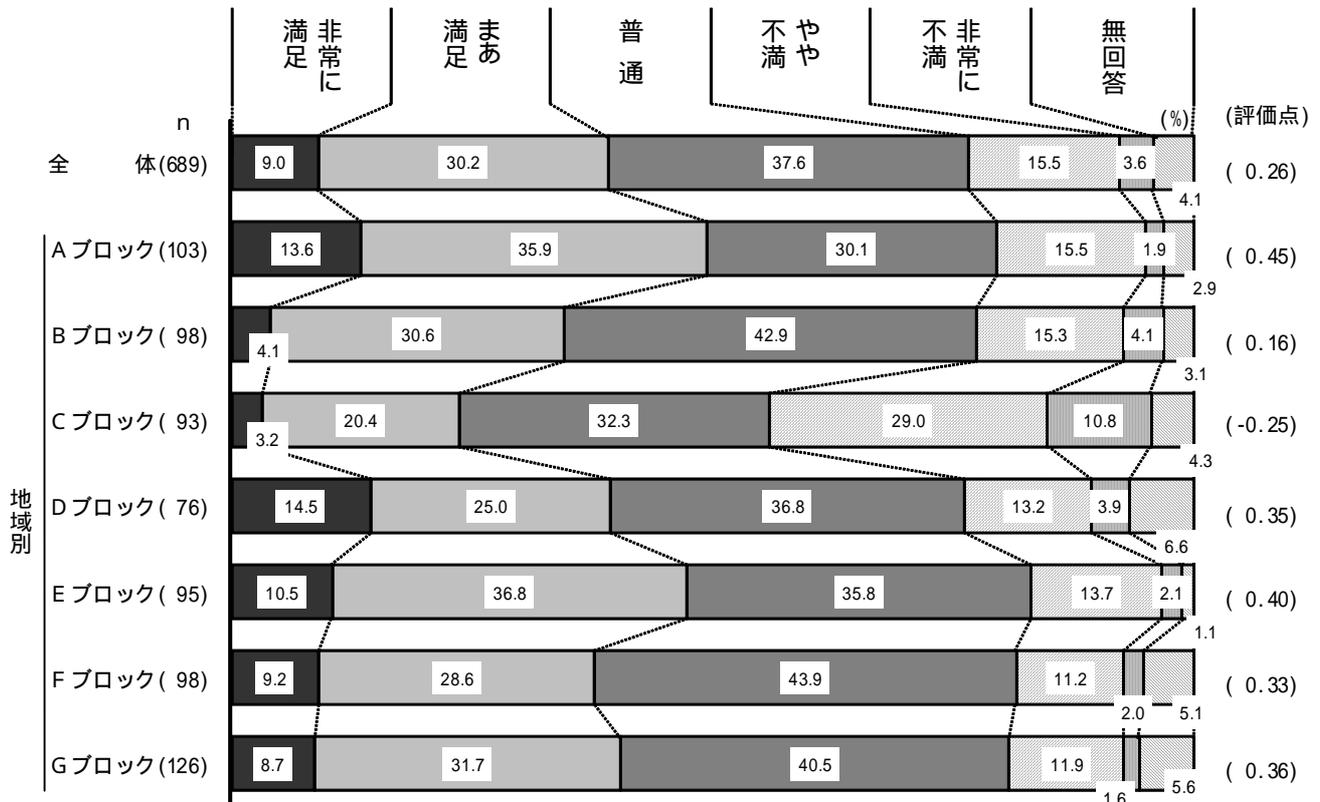
【食料品、日用品の買い物の便】Gブロック(0.65)が最も評価点が高く、次いでFブロック(0.61)とEブロック(0.59)の順となっている。一方、Bブロック(-0.16)とAブロック(-0.01)はマイナスの評価点となっている。(図表2-8)

<図表2-8>食料品、日用品の買い物の便/地域別



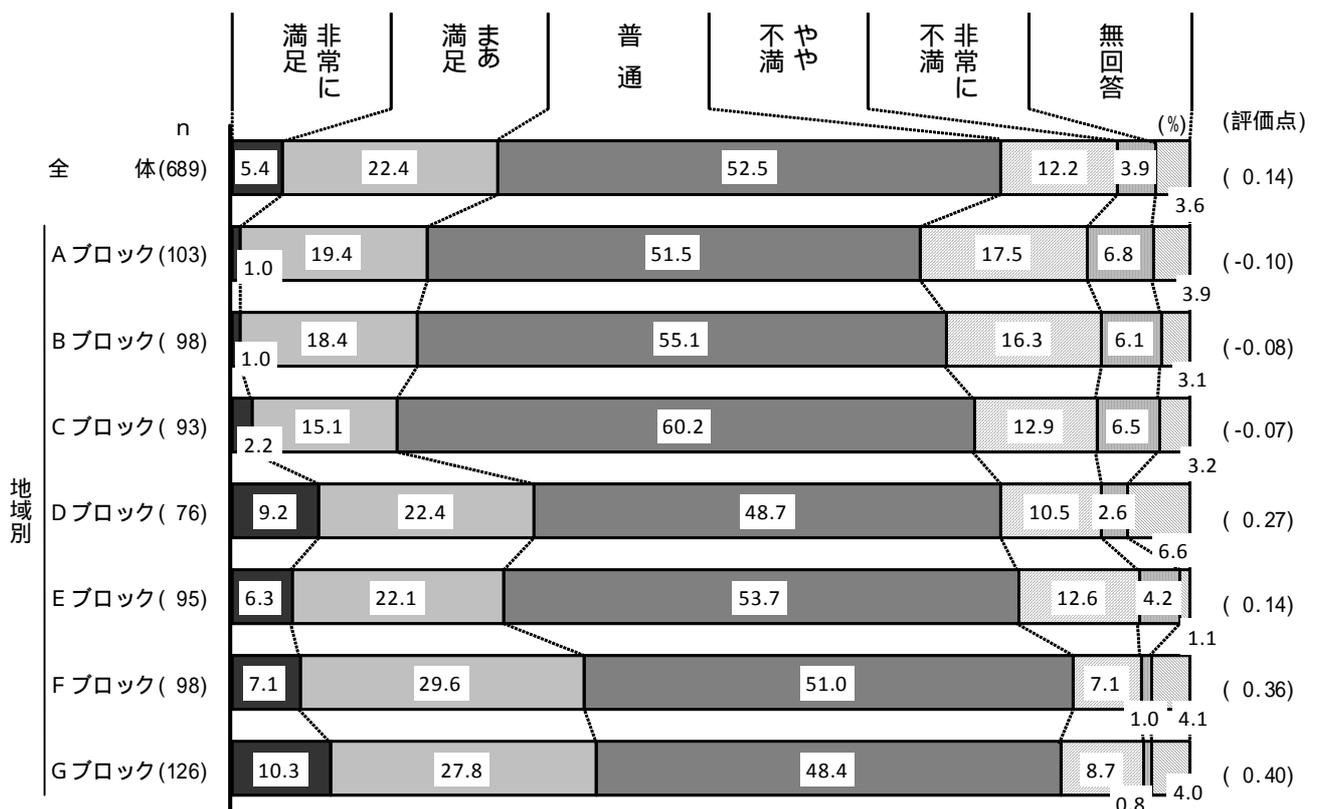
【通勤・通学や外出のときの交通の便】Aブロック(0.45)が最も評価点が高い。一方、Cブロック(-0.25)は唯一マイナスの評価点となっている。(図表2-9)

<図表2-9>通勤・通学や外出のときの交通の便/地域別



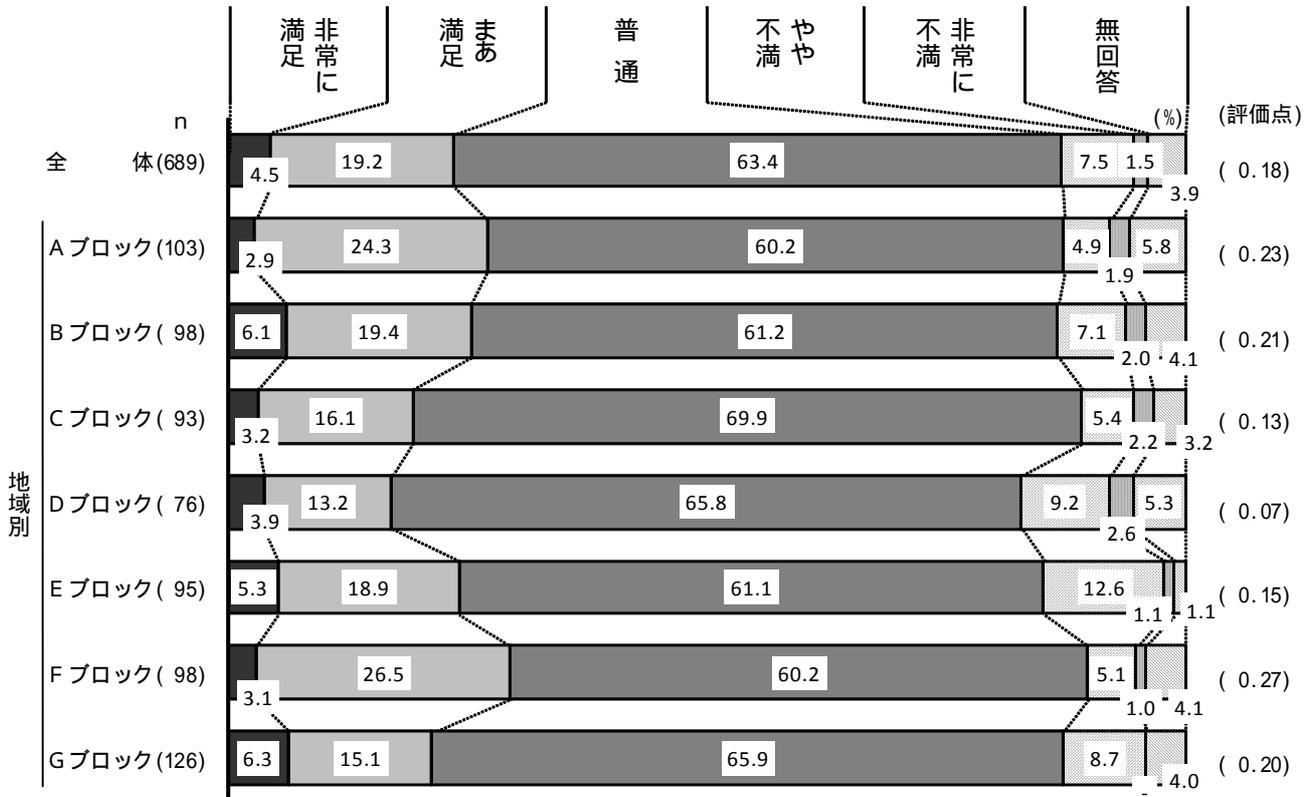
【病院や診療所などの便利さ】Gブロック(0.40)が最も評価点が高い。一方、Aブロック(-0.10)、Bブロック(-0.08)、Cブロック(-0.07)では、マイナスの評価点となっている。(図表2-10)

<図表2-10>病院や診療所の便利さ/地域別



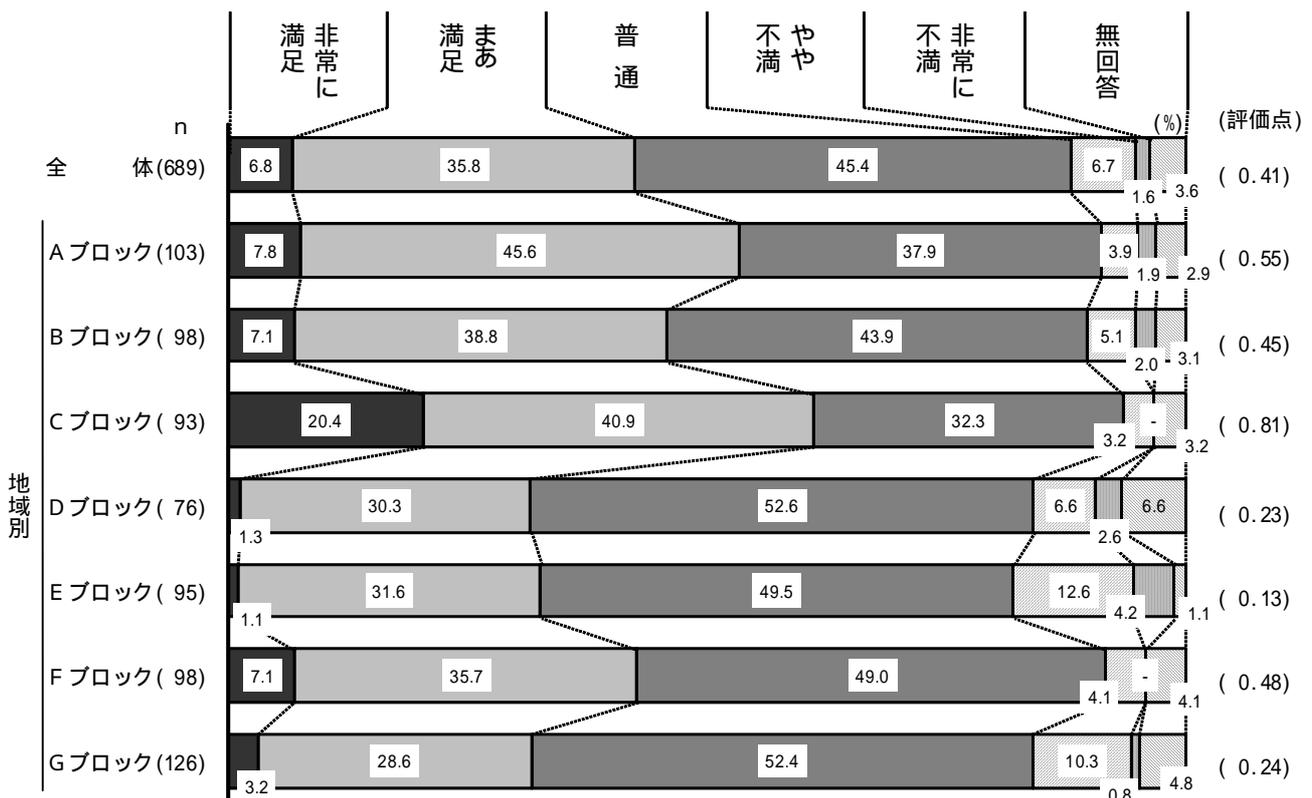
【近所づきあい、人情味の豊かさ】Fブロック(0.27)が最も評価点が高い。続いてAブロック(0.23)、Bブロック(0.21)、Gブロック(0.20)の順となっている。(図表2-11)

<図表2-11>近所づきあい、人情味の豊かさ/地域別



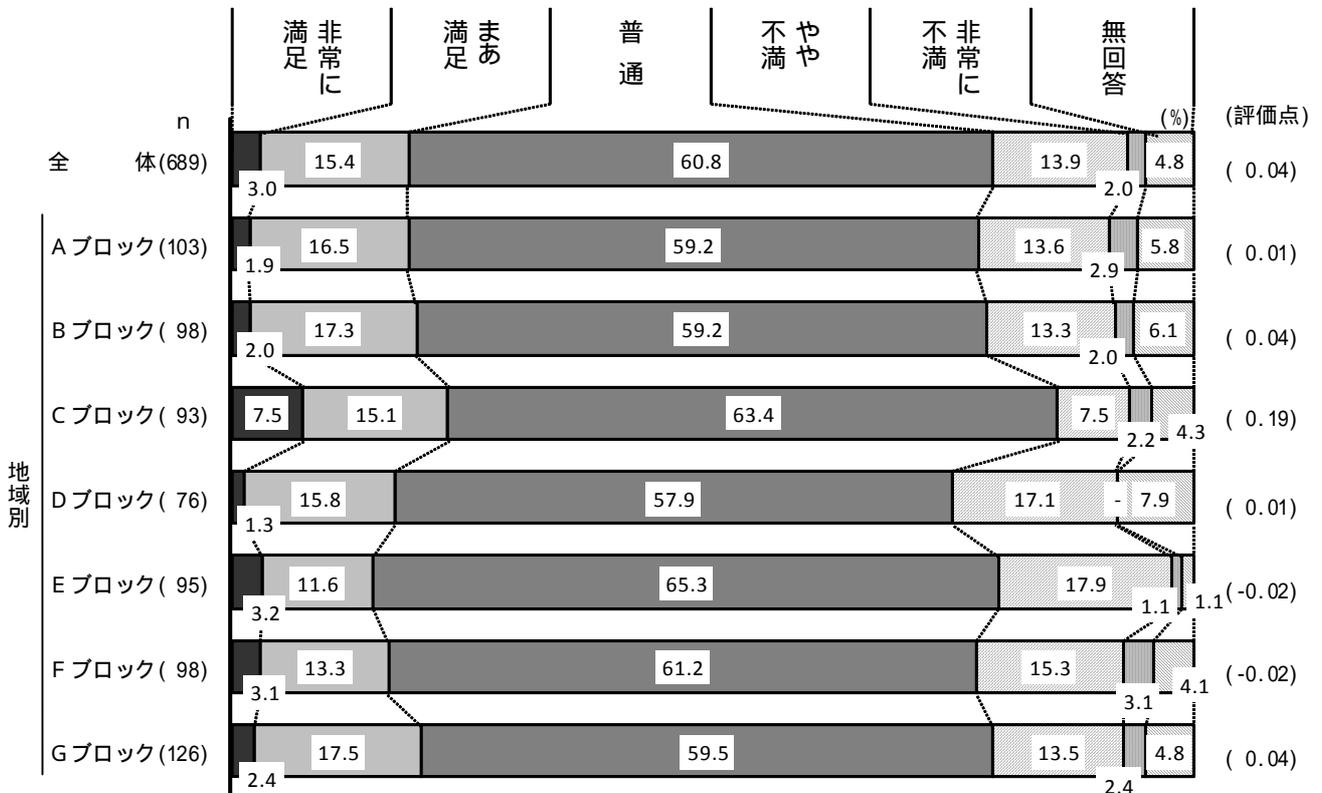
【緑や空気などの自然環境】Cブロック(0.81)が最も評価点が高く、Aブロック(0.55)、Fブロック(0.48)の順となっている。(図表2-12)

<図表2-12>緑や空気などの自然環境/地域別



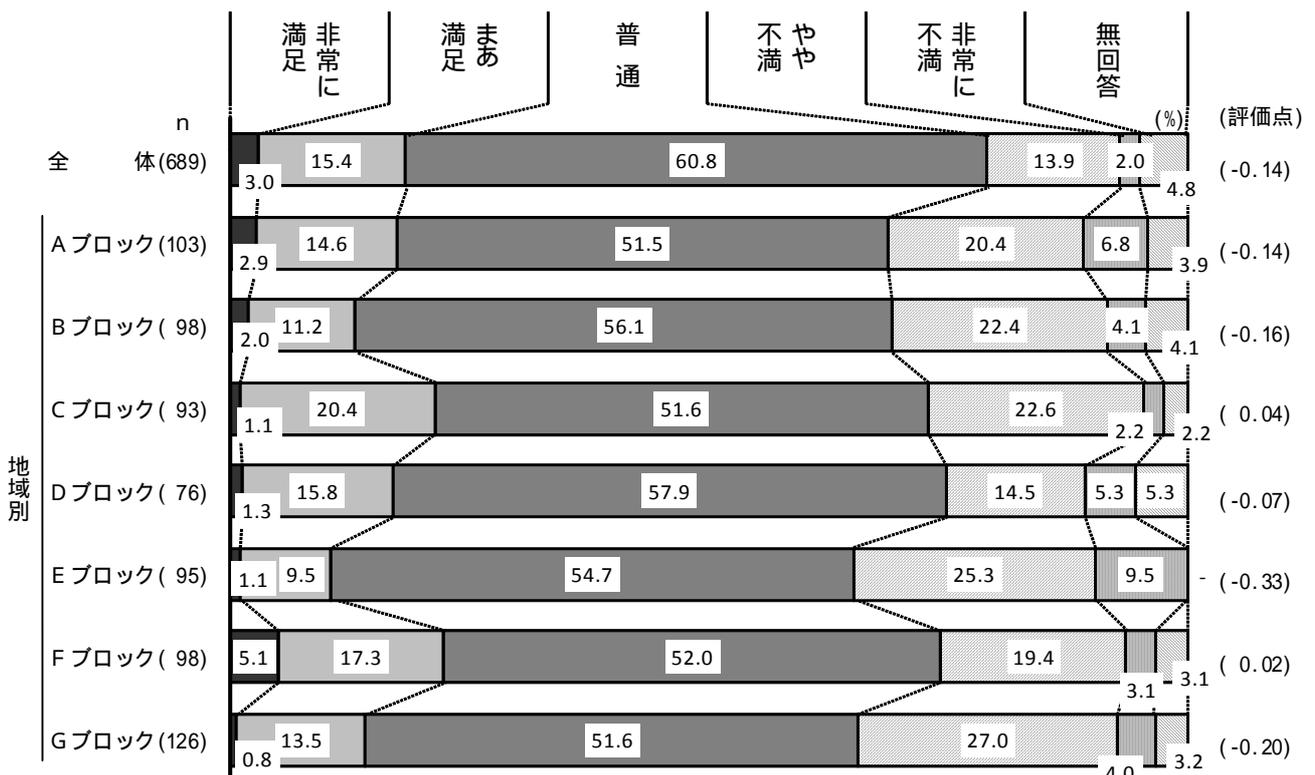
【スポーツや文化活動をする施設】Cブロック(0.19)が最も評価点が高い。一方、Eブロック(-0.02)とFブロック(-0.02)ではマイナスの評価点となっている。(図表2-13)

<図表2-13>スポーツや文化活動をする施設/地域別



【老後の生活を送る場所として】Fブロック(0.02)が最も評価点が高く、唯一プラスの評価点となっている。(図表2-14)

<図表2-14>老後の生活を送る場として/地域別

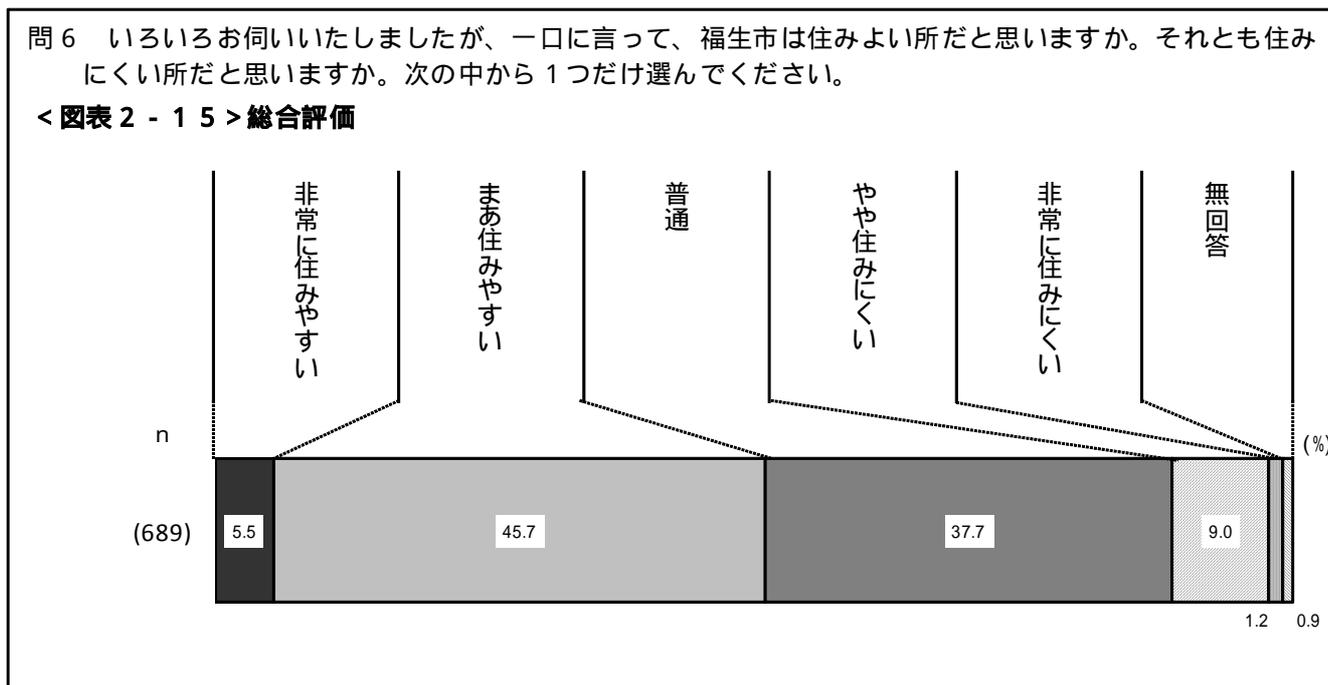


(2) 総合評価

【住みやすい】が約半数

問6 いろいろお伺いいたしましたが、一口に言って、福生市は住みよい所だと思いますか。それとも住みにくい所だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

<図表2-15> 総合評価

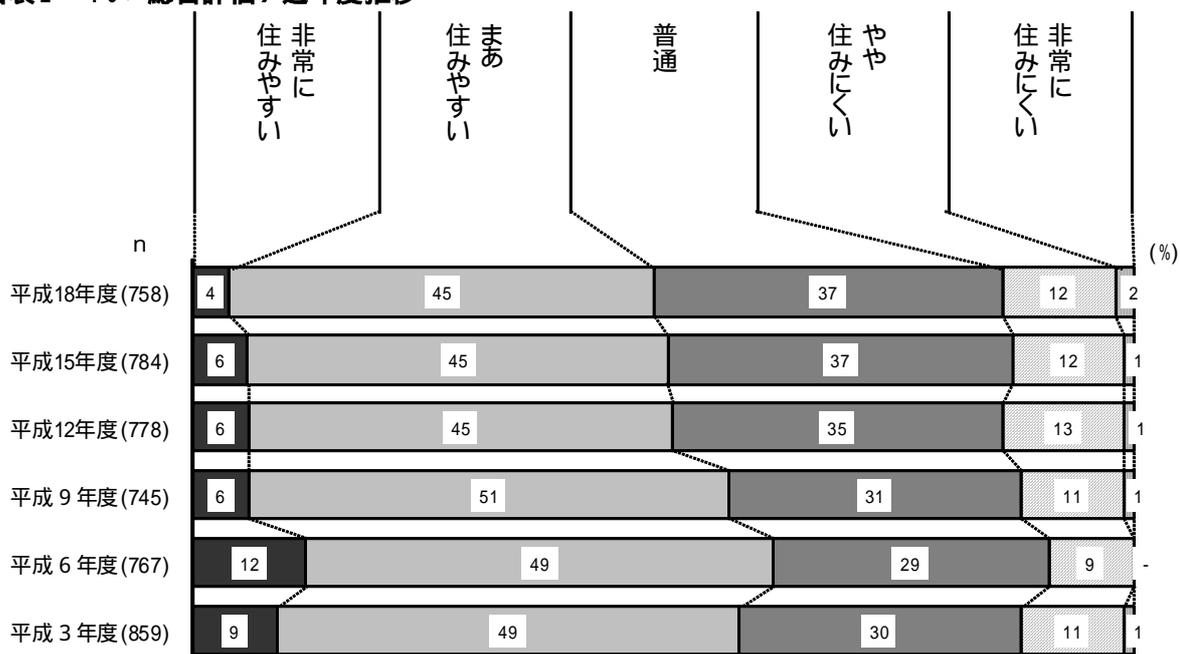


生活環境の総合評価については、「非常に住みやすい」(5.5%)と「まあ住みやすい」(45.7%)を合わせた【住みやすい】(51.2%)が約半数となっている。一方、「やや住みにくい」(9.0%)、「非常に住みにくい」(1.2%)を合わせた【住みにくい】(10.2%)は1割強にとどまる。また、「普通」は37.7%となっている。(図表2-15)

平成3年度からの調査結果の推移をみると、【住みやすい】の割合は平成9年度の調査で平成6年度より減少し、平成12年度調査で平成9年度より減少したが、その後は同程度で推移している。

(図表2-16)

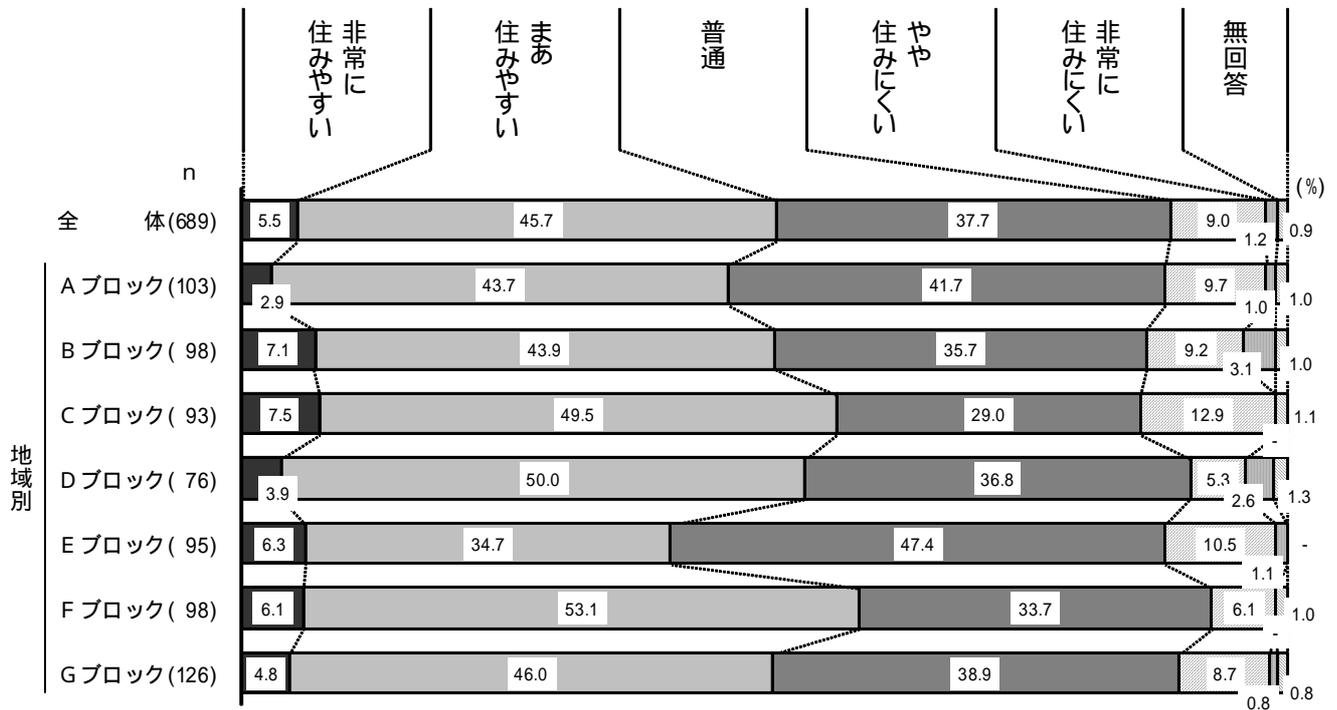
<図表2-16> 総合評価/過年度推移



地域別では、【住みやすい】の割合は、Fブロック（59.2%）で6割弱、Cブロック（57.0%）で5割台と高くなっている。一方、【住みにくい】は、Cブロック（12.9%）が一番高くなっている。

<図表2-17> 総合評価/地域別

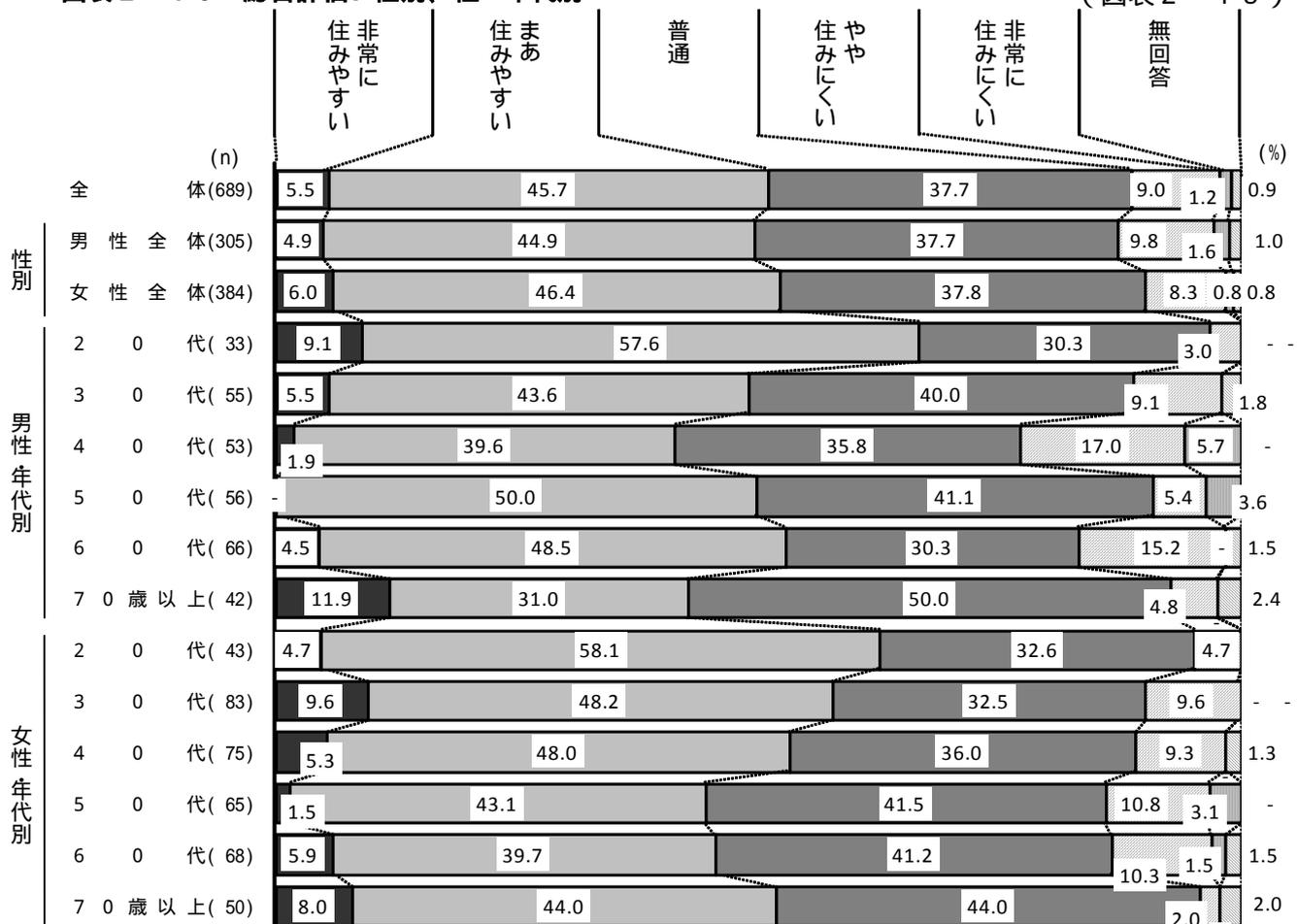
(図表2-17)



性別では、特に大きな差異はみられなかった。性・年代別では、【住みやすい】の割合が高いのは、男性では20代（66.7%）50代（50.0%）60代（53.0%）、女性では20代（62.8%）30代（57.8%）40代（53.3%）70歳以上（52.0%）で半数を超えている。

<図表2-18> 総合評価/性別、性・年代別

(図表2-18)



ライフステージ別でみると、【住みやすい】の割合が最も高かったのは独身期（63.1%）で、約6割となっている。家族成熟期（47.4%）、高齢期（48.4%）では4割台後半、老人世帯では約4割（38.7%）となっている。一方、【住みにくい】は家族成長前期（20.3%）で約2割となっている。（図表2 - 19）

＜図表2 - 19＞ 総合評価/ライフステージ別

